

## 平成 30 年度第 6 回(第 179 回)隠岐の島町教育委員会会議録

1. 開催日時 平成 30 年 9 月 28 日午前 9 時 30 分
2. 開催場所 五箇生涯学習センター 会議室
3. 出席委員 教育長 村尾 秀信  
教育委員 大津 義文  
教育委員 山下 豊範  
教育委員 嶽野 慶子
4. 欠席委員 教育委員 野津 幸恵
5. その他の出席者 総務学校教育課長 池田 茂良  
社会教育課長 吉田 隆  
中央公民館長 高梨 勇光  
総務学校教育課長補佐 村上 静夫
6. 開会宣言 事務局職員が出席者の確認をした後、教育長は開会を宣言した。
7. 教育長報告要旨 教育長は前回の教育委員会の会議から本日までの主な事項を報告した。  
ー報告要旨ー
  - 9月1日、八朔牛突き大会に町長の代理で出席した。大関と横綱の2番勝負であったが、例年より観客が多く、800人程の来場があった。
  - 9月11日、14回目の奈良県立十津川高校の修学旅行があり、中村の中村了三の生家跡にある顕彰碑前で歓迎会を行った。第1回目の修学旅行は60人近い生徒がいたが、今年は26名の生徒が来島された。
  - 9月14日、町議会一般質問が2件あった。後ほど詳しくお話ししたい。
  - 9月21日、島根県婦人会連合会の研修大会があり、県下より約240名、町内より約30名の参加があった。20日に交流会、21日に研修会があり、研修会では講演を行った。
  - 隠岐の島町議会一般質問で、2名の議員より小中学校の冷暖房設備に関する質問があった。村上謙武議員の質問として、一点目が、小中学校に冷房設備を設置するべきではないかという内容であった。教育委員会会議で教育委員から頂いた意見も活用させていただき、平成31年度に普通教室約80教室、平成32年度にはその他の教室約100教室に冷房設備の設置することを検討していることについてもお答えした。二点目が、学校施設には木質ペレットストーブを導入するべきではないかという質問であった。暖房機器の更新に当たっては、効率性、利便性、安全性などを考慮して集中方式が望ましく、木質ペレット焚き温水ヒーターの導入を計画していると答弁した。  
池田信博議員からも同じく小中学校のエアコンの設置状況と今後の整備計画、また、町の公共施設における木質ペレットボイラーの整備計画に関する質問があった。村上議員の質問に対す

る答弁と同様で、エアコンの整備に関する質問については、学校における猛暑への取組状況及び整備計画をお答えし、木質ペレットボイラーについても今後の更新に当たっては、木質ペレットを燃料とした暖房設備を導入していくという内容で回答した。

－ 質疑応答 －

(大津教育委員) 木質ペレット式の暖房設備は、冷房設備としても使用できるということであったが、暖房設備は木質ペレットを燃料とした暖房設備、冷房設備についてはエアコンと二種の設備を設置するというところでよろしいか。

(総務学校教育課長) 教室を冷やすことはエアコンでと思っているが、暖房機能が備わるエアコンを設置した方が、今後のメンテナンスや経費、安全性などを考えるうえで有効と考えている。町の方針として、五箇中学校に限らず、全ての小中学校については暖房機器の更新時には木質ペレット式の暖房設備を設置するという計画になっているのが、費用対効果についても考えながら計画をしていきたい。

(教育長) 猛暑に鑑みて、すみやかにエアコンを設置したいということが一義的であり、来年度の6月には稼働できるようにしたいと考えている。また、暖房設備の更新に当たっては木質ペレット式の暖房設備を導入するという町の方針であるが、五箇中学校が初めての導入であるので、常時の使い勝手等が未知数である。そういったことも踏まえながらも、エアコンについては平成31年度、32年度にかけて緊急に設置していこうという考えである。

(総務学校教育課長) 来年の夏までに稼働できるようにしたいところであるが、国の学校施設整備事業に係る予算規模、前倒しの補正予算などの状況により、出来るだけ早く冷房設備を設置していくための実施計画の策定をしていきたい。

(大津教育委員) 単純に考えると、エアコンを設置すれば冷暖房設備の整備は事足りると思うが、議員の質問内容からは冷房設備はエアコンを、暖房設備はペレット式の暖房設備をという考えが前提として読み取れる。

(教育長) 五箇中学校の木質ペレット式の暖房設備の稼働の様子を見ながら、また、エアコンのメリット、デメリット等を見極めながら今後の冷暖房設備の実施計画については検討していきたいが、エアコンは緊急に整備する必要があるため来年度予算化の方向で考えている。冷暖房設備の使い方について、冷暖房どちらもエアコンで対応するのか、暖房は木質ペレット式の暖房設備で対応するのかは、今後の状況を見ながら検討していきたい。

(山下教育委員) 先の読めない気象の変動がある中、決して少なくはない予算を必要とする場合であっても、冷暖房設備の整備はしっかりと実施するべきと考える。木質ペレットの暖房設備の稼働が未知数ということではあるが、例えば冬に木質ペレット式の暖房設備が故障し、動かなくなった場合にもエアコンで代用できることもある。使い分けについては、今後使用していく中で、エアコンと木質ペレット式の暖房設備の良いところをとりながら調整することもできる。何よりも重要な点は、子どもたちの学習環境を良い状態に保つということである。

(総務学校教育課長) 家庭を考えた場合、エアコンもあり、ファンヒーターもある。学校においてもエアコンの暖房機能の使用があるかもしれないが、特に寒い時には木質ペレット式の暖房設備に切り替えるなど、快適な学習環境を保つためにも、多面的に考える必要がある。

(教育長) 学校が避難所になることも考えると、夏季、冬季を問わず、避難した方が安全に過ごせる施設という点も考慮する必要があると考える。

(大津教育委員) 二つの設備の設置、取扱いについて了解した。もちろん子どもたちの学習環境

が重要な部分ではあるが、ただ、予算のこともあるので確認をした次第である。

(教育長) 具体的な計画を練る課長以下担当部署でも財源については第一に考えなければならず、しっかりと検討し、計画の段階で万全を期すよう指示する。1 月もしくは 2 月には具体的な計画を提示できると思うので、またご意見を頂戴したい。

(嶽野教育委員) 町の林業振興の見地からも大変重要な事業であるので、是非成功させていた  
だきたい。

## 8. そ の 他

【平成 30 年度第 7 回教育委員会の開催日時について】

○平成 30 年度第 7 回、来月 10 月の教育委員会の会議については、事務局職員の提案に異議がなく、10 月 30 日月曜日午前 9 時 30 分に教育委員会で開催することとした。

【議事録の確認について】

○平成 30 年度第 5 回教育委員会会議録について、委員全員により確認を行った。

9. 閉 会 宣 言 教育長は閉会を宣言した。

10. 閉 会 日 時 平成 30 年 9 月 28 日午後 10 時 48 分

11. 会 議 録 作 成 者 総務係 室崎 純平

署名日 平成 30 年 10 月 30 日

隠岐の島町教育委員会 教育長 村尾秀信